

マルメ研修を終えて

坂田歯科医院 大貫 陽香

この度は、このような素晴らしい研修に参加させていただきまして本当にありがとうございました。今回の研修は、当院からは自分一人の参加ということで参加申し込みの締め切りぎりぎりまで悩んでの参加でしたが、研修を終えた今、あの時勇気を振り絞って申し込んで良かったと心から思っています。

私はまだ臨床経験が二年目と浅く、担当の患者さんを診るようになってまだ一か月しかたっていません。そんな状態でマルメ研修に参加しても身に入るのだろうか・・・自分は何を学べるのだろうか・・・と、不安でいっぱいでした。しかし、学生の頃、先輩がこのマルメ研修の報告をされているのをたまたま聞いていて、自分もこの目で見てみたいと思っていましたし、ライセンスを手に入れた今、もう一度歯科衛生士という仕事はどういう仕事なのか確かめたく、参加を決意しました。

私がこの研修で一番感じたことは、歯科衛生士という仕事はこんなにも深く、やりがいのある仕事だということです。私は日々の診療の中で、忙しい・・・慣れてない・・・大変・・・と何かと理由を付けて仕事をしていました。患者さん一人一人を良く診ようとせず、流れ作業のようにメンテナンスをしていました。ですが、今回様々な先生の講義を聞いて、歯科医療の在り方やスウェーデンの衛生士の力量を学び、自分が恥ずかしいと思いました。患者さんの健康を守ることのできるその時間を無駄にしていたこと、自分の力量次第で診療スタイルが全く変わってくること、歯科衛生士という仕事を名ばかりで中身の無い仕事に自分自身がしてしまっていたことなど多くのことを学びました。

カリエスやペリオの診断をするにしても、その病変はどういうものなのかしっかり理解できていなければいけないですし、患者さんのリスク、全身状態、生活習慣などを考慮し総合的に診断する必要もあります。レントゲンの読影にしても、カリエスリスクの判定にしても、これはこうするといった具体的な例がないからこそ、自分で診断しなければなりません。全て当たり前のことではありますが、私はその重みや深さをこの研修で気づかされました。私がやるべきことはまだまだたくさんあり、日々勉強とはこういうことであると思いました。

確かにスウェーデンと日本はシステムが異なりますし、できないこともあると思います。しかし、私たちが目指していることは同じですし、日本でもできることはあると思います。私はこの研修で、それをいち早く気づけたことが一番の学びだと思っています。まだまだ未熟者ではありますが、歯科衛生士として今後も頑張りたいと思います。

最後になりましたが、今回の研修で同じ意志を持った仲間たちがたくさんいるということを知り、とても励みになりました。また、今まで人脈を広げることが苦手だったのですが、

この機会を通して多くの方と繋がりを持てるようになりました。私にとってこのマルメ研修は人間的にも大きく成長できた研修だったと思います。このような研修に参加させていただきましたこと、大変感謝いたします。